

スポット

- ・ 新年あいさつ
- ・ 研修報告
- ・ 事業所活動報告
- ・ 新人紹介

あかつき



撮影：高橋毅「精進湖より」

第78号 2020年1月1日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1

☎ 042-560-7840

<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

新年挨拶

理事長

鈴木 賢一



皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は、平成から令和へと元号の変わった節目の年でもありました。

昨年も様々な出来事がニュースを賑わせました。中でも、日本各地に深刻な打撃を与えた台風とこれに起因する水害については大変心を痛めました。というのも、かれこれ40年ほど前、多摩川沿いのマンションの一階に住んでいた時のことです。当時、大きな台風に襲われ、川が氾濫し、私の住まいにも水が迫ってきました。たまたま、マンションが一段高いところにあったため浸水は免れましたが、その時の何とも言えない不安な気持ちを感じ起こされたのです。現在そこには私の身内が住んでいますが、被害こそなかったものの昨年の台風の時には大変恐ろしい思いをしたそうです。

台風直後の鉄製のポールが飛ばされ民家を直撃した、橋が流された、ダムの緊急放流が実施された等々のニュースを耳にし、また、未だに復旧の遅れている状況を聞くにつけ、自然の威力の大きさを思い知らされます。

これ等の災害より被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早く復興がなされますことを心よりお祈り申し上げます。

幸いなことに当法人は今のところ大きな被害を受けることなく運営を続けております。しかし、毎年のように想定を上回るような災害があらざらぬところで発生しており、いつどのような災害に遭うかわかりません。当法人も今や、150名に上るご利用様と、90名近くの職員を抱えております。毎年のように発生している自然災害に対して、法人に関わる人たちをどのような形で守っていくか、更なる防災意識を高めていかなければならないと改めて考えさせられました。

そして、災害により全体の気持ちが消沈している一方で、そんな私たちに元気を与えてくれるような明るい話題も多くありました。私にとつてのそれはスポーツです。今年はオリンピック・パ

ラリンピックの年ということもあり、様々な競技が盛り上がりを見せました。野球では、世界野球WBSCプレミア12が開催され、稲葉監督指揮の下、日本が見事に優勝しました。一試合一試合、どの試合も選手たちの素晴らしい活躍の末につかみ取った優勝です。私は個人的に巨人のファンですが、毎年戦力外と言われていた巨人の大竹投手を稲葉監督が代表に迎え入れ、大切な場面で見事に期待に応えてくれた様には感動しました。また、

昨年、私は今まではラグビーワールドカップだったのではないのでしょうか。私は今まではラグビーは観たことがなかったのですが、テレビではルールを丁寧に説明してくれて、かなり解るようになりました。初めての日本開催も、初めてのベスト8進出の快挙も実に素晴らしいものでしたが、日本代表のスローガンがあつての結果が、より私たちの心を打つたのだと思います。昨年の流行語にもなりました。言わずと知れた「ワンチーム」です。一見簡単で覚えやすいこの言葉には、とても深い意味が込められていると思います。一つの目的に向かって心を一つにして進んでいく。そのためには、一人一人がプロ意識を持ち、互いの信頼関係なしには成り立たないでしょう。育った環境も文化も異なるメンバーがチームを形成していく過程には様々な衝突や葛藤も生じますが、それ無くして絆も信頼も生まれません。そうして得た厚い信頼と絆が、チームに良い仕事や自信をもたらすのです。

これはラグビーやスポーツに限った事ではありません。良い仕事を自信をもつて提供する。我々も同じです。仕事へのプロ意識とコミュニケーションの積み重ね、そこから生まれる信頼関係が仕事の質を左右するのです。障害福祉政策は大きな転換期を迎えています。法人内を見ても着手すべき課題は沢山あります。これから先、私たちはより強固なチームとなり乗り越えていかなければならないと思うのです。

最後に私事について少々。実は、今年のオリンピック・パラリンピックでは、ドイツ語ガイドのボランティアとして関わりたいという思いが私にはありました。というのも、私は大学卒業後、当時の西ドイツに位置するハイデルベルク大学へ2年間留学していたことがあり、ドイツ語には自信があるのです。

中高の学び舎であつた私立暁

星学園でフランス語を学んでいた私は、その語学力を生かして、前回1964年東京オリンピック・パラリンピックではフランス語のガイドを行っておりました。その時の経験が忘れられず、今回のオリパラでは、是非、ドイツ語のガイドに携わりたいとずっと考えていたのですが、結果的には断念せざるを得ませんでした。その一番の理由は予測される酷暑です。マラソンの開催場所が札幌に変わったのもそのためでした。昨年2度ほど入院したものの、月に2回ゴルフコンペに参加し、手前味噌ではありますが、昨年のベストスコア91で優勝した程です。なので、体力的には問題はないと思っておりますが、私ももう75歳です。ガイドボランティアは活動する場所も時期も選べないとのことなので、条件によっては周囲に迷惑をかけてしまうかもしれません。

心残りではありますが、手にするチャンス(機会)ともたらされるリスクと照らし合わせた結果としての判断ということなのです。

それでは東京オリンピック・パラリンピックが無事に終了する事と、多くのオリパラリンピアの方々活躍を祈って私の挨拶を終わりにしたいと思います。



虐待防止・権利擁護研修の

伝達研修を行った感想

あかつき授産所

サービス管理責任者

主任 小俣 俊弥

2019年7月24日・30日／8月6日の3日間、東京ビックサイトに於て行われた「東京都障害者虐待防止・権利擁護研修」に参加をし、障害者虐待と障害者の権利擁護について学んできました。またこの研修では研修終了後、施設内にてフィードバックを行う事が義務付けられているため、12月に施設内にて主に就労支援に従事している職員向けの伝達研修、1月に瑞穂町にある「あゆみ」で地活職員向けの伝達研修と2回フィードバックを行いました。

3日間の研修では、東京都における障害者虐待の報告件数などの基本的な部分から始まり、当事者の声を聴いたり、支援技術の向上についての取り組みについて学んだりと3日間でも納まりきらないくらい広域に障害者虐待について勉強をしました。本来であれば研修に参加していない職員に研修で学んできたことのすべてを伝えたいところでしたが、時

間に制限があり、どの部分を説明して、どの部分を省略するかという部分から考えなければいけませんでした。また就労系事業所に通われてくる利用者と地活に通われてくる利用者では障害種別や支援の方法も全く異なっているため、施設の支援内容にあわせて取り上げる内容を決めなければいけない点などに苦労しました。

2回に分けて伝達研修を行った中で、主に就労支援に従事している職員に対して行った伝達研修では、職員一人一人が日頃の支援の振り返りをする機会になればと思い、研修中に紹介されたグリーゾーンに繋がる可能性のある事例を多く取り上げ、またあゆみ地活職員に対して行った伝達研修では、虐待防止法の目的や定義、通報の義務など基本的な部分の話から始め、虐待防止についての基礎的な知識を深める事に重点を置いた伝達研修を行いました。

今回、初めて所内での研修の講師を行わせていただき、研修で取り扱う内容、時間配分など色々な部分に気を付けて行いましたが、研修が終わった後に内容を振り返ってみるとと違う内容も取り入れた方が良かったのではないかなど反省点がいくつもありませんでした。今回の伝達研修で得た経験を今後の自分の仕事に生かすと共に、スキル等の向上に励んでいきたいと思っています。

一般社団法人ゼンコロ

第5回発達障害者支援研修会

あかつき授産所 印刷部

主任 茂木 伸之

あかつき授産所には現在登録者数51名中、発達障害の方が3名利用されています。

私自身、発達障害者の深い理解やアプローチ方法に課題を感じており、各々に持つ利用者さんの強みをどのように引き出すのか、そして強みをどう引き伸ばしていくのか、それにあたりどのようなサポートが必要なのか、また他の事業所がどのようにアプローチをしているのかなど、実際の支援に役立てたいと考え、昨年12月5日・6日と2日間行われた研修会の1日目、株式会社ベネッセビジネススイート視察、畑deきつちん視察、風間美代子理事長の講演に参加致しました。

株式会社ベネッセビジネススイートでは、多種多様な仕事内容があり、全従業員数300名のうち障害者158名の方が勤務しています。障害種別としては知的が77名、発達性は28名、精神が27名、身体が26名と、発達障害の方は2番目に多く雇用されており、全体としての定着率は90%です。その背景には、【定着推進課】という、障害者社員の研修の企画・運営、定着支援、指導員

の勉強会運営などを行う課を設けているということでした。

社内研修では全障害者社員のためのコミュニケーション研修や精神・発達障がい社員のセルフケアアップセミナーなど、講師に精神科医や臨床心理士を招き、正しい服薬の仕方や働き方などを見直す研修が定期的に行われています。

また指導員勉強会、指導員研修を毎月1回行い、指導方法の事例や情報共有をし、指導員のスキルアップを目指していました。

社内見学では障害者の社員向けに、どの課も作業内容が分かりやすいように、イラスト付きの大きな文字で簡略化された説明文と配慮がされておりました。

次に夢うさぎと畑deきつちんの見学をしました。デパート内にこの2店舗はあり、夢うさぎは就労継続支援B型で、仕事内容は高級布材を使用したバック、小物などの製造販売をしています。障がいがある方が商業ビルの中で勤務するということや景色が良く集中できる空間で作業することをモチベーションにしてもいい、仕事に取り組んでもらっているそうです。

畑deきつちんは就労継続支援A型でレストラン経営をしています。このレストランで使用される

野菜は同法人内の畑作業を行う夢畑で利用者さんが栽培した野菜を使用して料理を作っています。

野菜を栽培し生産する事業所、その野菜を使用し料理を作り提供する事業所と同法人内で工程が成り立ち社会参加している事が素晴らしいと思いました。

風間美代子理事長の講演で、草むらの会の立ち上げから今までの流れの話をお聞きました。草むらの会では、利用者さんにマッチングする仕事を探し、提供し続けたら利用者さんが増えていき、作業内容が増えていったそうです。そこには地域の方たちの理解や協力を得られたおかげと話されていました。今ではA型事業所が1事業所、B型事業所が7事業所で登録利用者数480名、職員数は180名です。

講演を聞いて風間理事長は、常に利用者さんの気持ちに沿った考えを持ち、行動力がある方だと感じました。

この研修に参加して、日頃の支援のあり方を見直す機会となりました。今後は支援が独りよがりにならず、一人ひとりに対し丁寧な時間をとり色々な方法を模索し、本人が納得し作業できる環境で本人の持つ強みを発揮できるといった場所を作っていきたいと思っています。

事業所紹介

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみ

福祉センターあゆみ

●地域活動支援センター●

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみ・地域活動支援センターは、15名の利用者さんが在籍しています。また、日中活動の場として、ストレッチ、散歩、レクリエーション、自主製品の制作、季節の行事参加、そして地域で行われる行事への参加などをおこなっています。今回は、10月から12月におこなった行事の一部をご紹介します。

10月には近隣にあります石畑保育園との交流会、日帰り旅行、ふれあいまつりがありました。

日帰り旅行では当初予定していた場所から急遽変更してイオンモール日の出に行きました。そこでは、グループに分かれ食事と買い物を楽しみました。

食事は食べ放題のため多くの

食材があり、その食べたい食材を職員と一緒に見て回り、お皿にとっていただきました。普段、あゆみでの食事ではなかなか食べられない食事の種類の多さ、そして、ケーキやデザートなども選べ食べられたことは貴重な体験になりました。



日帰り旅行（日の出イオンモール）

ふれあいまつりでは、みんなで作った自主製品を協力して販売しました。今回、新しい製品として手作りのクリスマスツリーを制作しました。昨年のクリスマス会でご家族用にと制作したのですが、なかなかきれいに出来たので今回のまつりでも販売しました。ツリーの制作については、飾りつけする物は利用者さんを選んでもらい、

飾り付けの接着作業は職員がおこなうというやり方で進めました。当日、ツリーは販売が始まる前から購入の予約がある状況で人気でした。



ふれあいまつり

次に、11月には活動参観、産業まつり、調理実習をおこないました。活動参観では、今回初めての試みとして音楽療法の時間でおこないました。音楽療法は講師を招いて音楽を皆で楽しむというもので、利用者さんにとっては笑顔も多く楽しみな活動です。そういった利用者さんの楽しい様子をご家族の方々にも見ていただきたいの思いもあり実施しました。当日は4人の親御さんにご参加していただ

き、一緒に音楽を楽しんでいたできました。親御さんの中にはご自宅では見られない様子が見られて良かったというご意見もありました。



活動参観（音楽療法）

12月には社会福祉協議会主催によるふれあいカラオケ大会を、地域の障がい者関係の他施設や団体等と合同で実施し、一日中歌での交流を楽しみました。また下旬には、クリスマス会を元狭山コミュニティセンターの会場をお借りして行いました。

昨年からのクリスマス会では利用者さん、職員各3名ずつ実行委員を決め、実行委員が中心になって何を食べるか？何をして過ごすか？ということを検討し、決めていくことになりま

した。実行委員では話し合う時間や買い出し等の準備が大変でしたが、何とか無事に楽しいクリスマス会をおこなうことが出来ました。

今後とも日中活動の場において、一つ一つの行事を大切にしながら、「利用者さんのためには何が必要か？何をしたらいいのか？」を職員間で考え、今後とも利用者の皆様、ご家族の皆様から喜んでいただける施設を目指していききたいと思います。

（五十嵐 崇）



クリスマス会



新人紹介



みなさん
よろしくお願い
しま～す!



■11月12日より勤務させていた
だいております。趣味はドラ
イブです。わからないことも
多くご迷惑をおかけしてあり
ますが、周りの方々に支えら
れて楽しく働かせていただい
ております。宜しくお願い致
します。

さくら 指導員
佐久間 峻さん



■好きな事は旅行です。日本全国都府県回
りましたが、今度は島廻りをします。目標
は石垣島へ行く事を楽しみにします。
今までの仕事はドライバーで、40年ト
ラック運送業の運転手として常に安全運
転を心がけてきました。それにより全日
本トラック協会より金十字章表彰、警視
庁より感謝状をもらいました。これから
も安全運転に努め仕事をしていきます。

スペースまどか 配送員
須貝 秀也さん

主な事柄

9月												10月												8月											
3	水質検査 (法人施設)	窓清掃ボランティア	(さくら)	町内納涼会 (あゆみ)	納涼会 (さくら)	地域子ども交流会 (法人施設)	夕涼み会 (あゆみ)	村山特別支援校教員見学 (セルプ)	福祉の仕事相談・面接会 (さくら)	寿楽夕涼み会 (あゆみ)	消防設備点検 (法人施設 5日迄)	消防設備点検 (あゆみ)	福祉祭り (法人施設)	虐待防止マネジャー会議 (瑞穂町施設)	火災避難訓練 (さくら)	村山五中学生職場体験受入(授産所・セルプ 20日迄)	日帰り旅行 (さくら)	地震避難訓練(法人施設)	利用者健康診断 (法人施設 26日迄)	防災総合訓練・引渡し訓練 (あゆみ)	28														
1	赤い羽根共同募金(授産所)	日帰り旅行 (法人施設)	建築設備検査 (法人施設)	利用者健康診断 (さくら)	日帰り旅行 (あゆみ)	利用者健康診断 (授産所)	火災避難訓練 (法人施設)	瑞穂町ふれあいまつり (瑞穂町施設)	瑞穂町産業まつり (瑞穂町施設 10日迄)	建築設備検査 (あゆみ)	理事会 (あゆみ)	インフルエンザ予防接種 (あゆみ)	瑞穂町ふれあいカラオケ大会 (瑞穂町施設)	虐待防止マネジャー会議 (瑞穂町施設)	赤い羽根共同募金(さくら)	建築設備検査 (法人施設)	東京都事業者集団指導 (セルプ)	作業部一課内部監査 (授産所)	納会・忘年会 (法人施設・さくら)	27															
4	日帰り旅行 (法人施設)	利用者健康診断 (さくら)	利用者健康診断 (授産所)	火災避難訓練 (法人施設)	瑞穂町ふれあいまつり (瑞穂町施設)	瑞穂町産業まつり (瑞穂町施設 10日迄)	建築設備検査 (あゆみ)	理事会 (あゆみ)	インフルエンザ予防接種 (あゆみ)	瑞穂町ふれあいカラオケ大会 (瑞穂町施設)	虐待防止マネジャー会議 (瑞穂町施設)	赤い羽根共同募金(さくら)	建築設備検査 (法人施設)	東京都事業者集団指導 (セルプ)	作業部一課内部監査 (授産所)	納会・忘年会 (法人施設・さくら)	29	人権研修 (森田)	精神就労定着支援連絡会 (大庭)	茶花会議 (西出)	29														
6	虐待防止研修 (小俣)	W I J 理事会 (高橋)	武蔵村山市障害者「はたらく」部会 (富田)	業務連絡会 (熊谷・富田)	サビ管更新研修 (戸村)	武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)	武蔵村山市市相談支援部会 (神山)	瑞穂町就労部会 (戸村)	就労ネット (西出・小林)	任意の会 (日野・田島・大野)	人権研修 (茂木)	花壇会議 (稲場)	マツチングスキル研修(日野)	武蔵村山市日中活動部会 (小俣)	精神計画相談養成研修 (神山)	S S T セミナー (斎藤 29日迄)	29	人権研修 (森田)	精神就労定着支援連絡会 (大庭)	茶花会議 (西出)	29														

出張・研修

9月

2 人権研修

(齋藤・稲場・増淵)

5 ゼンクロススキルアップ研修

(遠藤・日野 6日迄)

6 スーパービジョン研修(永井)

強度行動障害研修

9 瑞穂町社福法人連絡会・部会

(押川・山田・戸村)

10 業務連絡会

(熊谷・藤沢・富田)

17 武蔵村山市相談支援部会

(神山)

19 瑞穂町生活部会

(高橋)

19 茶花会議

(西出)

24 茶花会議

(西出)

25 花壇会議

(稲場)

26 就労ネット

(西出・小林)

27 就労支援セミナー

(日野)

1 中堅職員研修

(長沼 2日迄)

9 お伊勢の森連絡会

(富田)

11 業務連絡会

(熊谷・富田)

15 武蔵村山市相談支援部会

(神山)

16 労基署講習会

(高橋)

23 武蔵村山市日中活動部会

(遠藤)

25 茶花会議

(西出)

28 任意の会(日野・田島・大野)

花壇会議 (稲場・大庭)

施設見学研修(あゆみ職員)

虐待防止研修 (セルプ)

4市合同相談支援事業所

学習会 (神山)

31 立川保健所講演会 (富田)

さくら指定管理選定委員会

(高橋・大滝・赤星)

マッチングスキル研修

(日野 11月1日迄)

5 東社協身障部会総会(永井)

年末調整説明会 (利根川)

6 武蔵村山市自立支援協議会

部会再編検討会(高橋・富田)

8 武蔵村山市障害者「はたら

く」部会 (富田)

業務連絡会 (熊谷・富田)

11 サビ管研修 (山田)

13 ゼンコロ運営委員会 (遠藤)

14 ゼンコロ理事会・総会

(高橋 15日迄)

15 サビ管研修 (山田)

武蔵村山市自立支援協議会

19 羽村特別支援校運営連絡

協議会 (西出)

武蔵村山市相談支援部会

(神山)

19 就労ネット

(西出・小林)

生活困窮ネット

(戸村)

10月

20 茶花会議

(高橋)

21 瑞穂町特定指定相談支援

連絡会 (大滝)

22 虐待防止研修 (法人施設)

茶花会議 (西出)

27 西多摩障害者雇用・就労

支援シンポジウム

(齋藤・戸村・日野)

28 花壇会議

(大庭)

就労ネット

(西出・富田・小林)

3 瑞穂町就労部会

(戸村)

5 ゼンコロ発達研修

(遠藤・茂木 6日迄)

6 武蔵村山市自立支援協議会

部会再編検討会(高橋・富田)

精神就労定着支援連絡会

セミナー (西出)

10 瑞穂町自立支援協議会

(高橋・戸村)

11 武蔵村山市日中活動部会

(永井・小俣)

13 業務連絡会

(富田)

17 武蔵村山市相談支援部会

(神山)

18 西多摩就労支援連絡会

(戸村)

19 就労ネット

(西出・小林)

20 茶花会議

(西出)

任意の会

(大野・細川菜・田島)

24 花壇会議

(大庭)

11月27日、三拍子の会様より寄

付金を頂きました。

謹んで御礼申し上げます。

11月19日、(株)ブルミッシュ様

よりゼリーを頂きました。

謹んで御礼申し上げます。

12月21日、福祉センターあゆみ

において、イオンモールむさし

村山様よりクリスマスプレゼント

トを頂きました。

謹んで御礼申し上げます。

12月25日、(株)トヨー様より

お餅を頂きました。

謹んで御礼申し上げます。

12月25日、(株)トヨー様より

お餅を頂きました。

謹んで御礼申し上げます。

12月25日、(株)トヨー様より

お餅を頂きました。

謹んで御礼申し上げます。

12月25日、(株)トヨー様より

お餅を頂きました。

謹んで御礼申し上げます。

12月25日、(株)トヨー様より

お餅を頂きました。

謹んで御礼申し上げます。

12月25日、(株)トヨー様より

お餅を頂きました。

ボランティア

8月3日、ハウスクリーニング
協会様が瑞穂町福祉作業所さく
らの窓拭きボランティアに来て
くださいました。
謹んで御礼申し上げます。

入所退所

入所

9月 堀之内勇志 (さくら)
11月 佐久間 峻 (さくら)
12月 須貝 秀也 (まどか)

退所

8月 山本 達雄 (授産所)
榎本 裕太 (授産所)
杉村 直哉 (まどか)
9月 宇佐美真理 (まどか)
11月 稲場 和枝 (まどか)
12月 千葉 洋子 (まどか)
矢島 涼 (まどか)
内野 明 (まどか)
鈴木 宏之 (授産所)
加藤與志雄 (授産所)

編集後記

新年号をご覧頂きありがとうございます。今年もあかつき新聞を宜しくお願い致します。
今年の干支、庚子は、変化や新たな生命の兆しを意味するそうで、新しい事に挑戦するのにとても適している年とか。もし、迷っていることや温めてきたことがあるなら、思い切って始めてみるのも良いかもしれせん。
挑戦にはパワーが要ります。
私にも挑戦してみたい事柄は幾つかあるのですが齢〇歳、パワーが持つでしょうか…。(E.M)